

# 令和5年度とよたシニアアカデミー通年コース 文化工芸学科 4月の講座紹介

4月5日の入学式に続き、いよいよ文化工芸学科の学習が始まりました。今月は三味線の構造や地域の民謡、ことばと音の関係について楽しく学びました。合言葉は、「良く学び良く遊び」です。一年間、よろしくお願いします。

## ようこそ民謡と三味線の世界へ 4月19日（水）



当番さんによるはじめの挨拶



講師：西守芳翠氏、西守芳泉氏  
三味線の構造について解説します



実際に三味線にふれてみました。初めて持ちます、思ったよりも重い…

### 学生の感想（抜粋）

- ・洋楽器や洋楽は、色々な所で見たたり聞いたりができますが、和楽器にはなかなかふれる機会が無いので、今回は貴重な体験ができました。伝統文化を後世に受け継いでいくことが大切だと思いました。
- ・三味線には生まれて初めてさわりました。日本の文化を感じるものでした。
- ・「拳母小唄」に出て来る萬灯山、矢作の浅瀬などの歌詞が身近で親近感が持てた。豊田市にあって心豊かな民謡が市民に広がるのが願いです。



民謡は、生活の中で生まれ口伝で広まりました

## 音“楽”しましょうアラカルト 4月26日（水）



リズムに合わせて、左右の手が別々の動きをしまーす！できていますかー？



講師：加藤美里氏

### 学生の感想（抜粋）

- ・日本の歌のベースにある「音階」と「リズム」を知る良い機会となりました。音階は「ラソミの音」「四七抜きメロディー」、リズムは「三三七拍子」「農耕民族に由来する二拍子」とのこと、興味深かったです。
- ・音楽の力で対象者のケアを行うことに興味を持った。音楽には、ことば（歌詞）が大切である。今日は、珍しい楽器を演奏したり、身近な物でできている楽器を見たりしてあっという間に時間が過ぎた。音を楽しむ時間になって良かった。



間違えても大丈夫、続けてくださいな



ドレミパイプの体験。色によって音が違います、赤色はド～♪



終わりの挨拶でラップが飛び出し、会場は騒然…